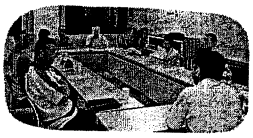
民笑：南区支部だより

☆15

南区支部では「民笑：経営人生を語る会」を開催しました。7月17日は、講師に長澤さん、お話を60分して頂きました。8月23日は、講師に酒井さん、お話を90分して頂きました。参加者からいろいろな質問などが出て、講師が答えるなど、話が盛り上がりました。

長澤さん

酒井さん



参加者からの感想

笑い転げた長澤さんの「生き方」

長澤さんが「空手」の先生だとは聞いていたが、僻地を駆けまわって土地の人たちに教えているというのは、初めて聞いた。仕事もまさに「好きなこと」をという感じだった。空手で国体に出たこと、ハワイに4年間、スリランカにもボランティアで指導を。スリランカのバスは日本郵政の払い下げだった。お金は、葬式代だけあればいいやと今は作業服の仕事をしている。僻地へは当分行かれない。と残念そうだった。ある日、払い下げのバスで走っていたら、バスがどどっと揺れるので、外を見たら「象」が並んで走っていた。「ソウ!!」としたという落語のようなオチに大爆笑した楽しい夜だった。

永井和子

長澤さんに語る会でお話をしてほしいとお願いしたところ、仕事も順調だし、話すきっかける話題なんて何もないから…との返事だったがそれでも良いので…とまたお願いをした。仕事は順調、プライベートでは空手の指導とお酒を愉しむ。きっとそんな順調な商売と人生を送っているのは、長澤さんの人徳なんだろうと思った。話を聴き、長澤さんの器の大きな人柄に触れた一日になりました。ありがとうございました。

根本純希

昔と違い世の中の生活のリズムが早くなり流行も期間が短くなりました。そんな中での商売は変化についていくのに大変な時代になりました。私は変わりの速いスピードについていこうと商売もいろいろ目先を変えてやってきました。ですから商売が変わるたびにお客さんも付き合う人も変わっていくのが今流の商売のやり方なのかな～と思っていました。酒井さんの商売を通じての生き方、人生の考え方を聞かせていただいて、大きな感動とこのような違う考え方の商売のやり方があるんだと、改めて自分の商売、生き方を違う方向から見つめ直すことができました。酒井さんは人も人のつながりもとても大事にしています。それは誰もがしていることのように思えますが違うのは根性、肝が据わっており、信念のグラつきがないところは感動でした。苦しくなってくると楽な道の方を選びたくなるものです。ありのままの現状を逃げることなく受け入れ苦しみに立ち向かうことを喜びのように思える様はどん底を味わったからこそ、得られる境地なのかもしれません。苦しみを味わったからこそできる人への優しさ、信念、いろいろな方からの助けで今の商売を続けてこられたのは、そんな状況から得ることができた酒井さんの人柄があったからでしょう。民商は大きな宝物を得ることができる集まりです。商売人は困ったときは孤独です。力と勇気、知恵をいただける場所と仲間がいることを、酒井さんに改めて教えていただきました。ありがとうございました。

千葉繁男